

## 福祉展に参加して

3月10日に、大江のJT熊日ハウジングガーデンでありました。去年までは城屋ダイエー内で行われていましたが、今年始めて屋外で行われ、労働センターも販売で参加しました。

当日は大阪から、低床バスも来ていて試乗もあって私も乗ってみたけど乗り心地も良かったし車内もシンプルでした。熊本にも低床バスがたくさん入れて走らせてほしいと思いました。昼食にケンタッキーフライドチキンのドライブスルーを試してみましたが「車じゃないのでダメです」と言われて車椅子なので中には入れないと言ったら店員さん2人で抱えてもらって中に入りました。店員さんは重い重いと言いながら抱えてたので、私は重かったら入口にスロープを付けて下さいと言いました。

昼からは寒かったけど、去年までとはちょっと違った福祉展でした。

吉村春美

### 3月までに会員になった方

大久保裕教、梅田伊津子、本田博通、羽江忠彦、遠山孝一、樋口輝幸、村田高浩、村上秋成、今泉克巳、今泉邦子、江崎美野里、増永祐二、熊谷正純、澤田新一、緒方健一、村田健二、渡辺和宣、道家鈴、楢原文恵、掘田伏見、鷺崎仁美、山内町子、大久保千歳、村上博、池田章子、松井薫恵、野口美枝子、乗富哲夫、一甲宜男、清水さなえ、田尻正典、賀来宏、小池美代子、田中利和、若松幹男、古川康、古場賢剛、時松俊英、満永庄太郎、坂井夕工、加納貴利子、阪本妙、松尾寿佳子、中村玲史、羽江育子、古賀重弘、島津静夫、山崎千佳子、林田義則、松本久美子、倉田哲也、畑本真吾、上野恵子、中島康行、須賀堯久、園田寛子、福原浩二郎、怒留湯健蓉、菅次子、原田由美子

Withの会に入会して  
センターを応援して下さい！！

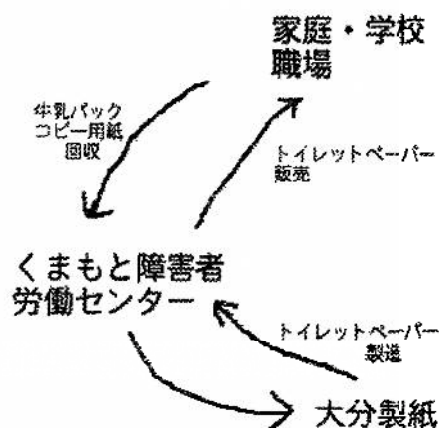
## 幸田市民センターに行つての感想

3月3日の午前11時～午後の2時まで幸田市民センターで再生紙キャンペーンがありました。労働センターからは私と野口さんが参加しました。

私は仕事で幸田市民センターに来ていたのだけど、いろんな催しがたくさんで、どこかに行ったり、うろうろしたり展示物を見に行っていました。着物の帯結びもあっていたので、大ホールに見に行ったりしました。その後で一階に降りて、お客さん達にトイレットペーパーを無料で差し上げたりアンケートを書いてもらったりしました。

バック連の皆さん3月3日はおつかれさまでした。

市瀬恵



牛乳パックや  
トイレットペーパーの  
回収にご協力をお願いします。  
そして大分製紙で  
リサイクルされた  
トイレットペーパーを  
御使用ください。

くまもと障害者  
労働センターでは

事務用品の取扱いを始  
めました。

くわしくは  
わしざき まで

## 死の門の一步手前

あれは2月2日の出来事でありました。

いつもより目が覚めるのが早く時計を見てみると、AM5:00を指していました。布団から抜け出してタバコを1本吸ったところで電動車椅子に乗り込んで玄関のドアを開けてみたら冷たい風が私を包みました。それにも関わらず外へ飛び出し、コンビニへと電動車椅子を走らせました。後になって考えた事ですが、コンビニへ朝早くから買い物に行くという事は、もうすでに体が飲酒欲求が起きていたものだと思います。コンビニへ入るとすぐ酒販売コーナーへ行き焼酎の1升パックを2本買って部屋に帰りましたが、罪の意識とか罪悪感等一切ありませんでした。アルコール依存症者には一杯の酒は多過ぎるけど千杯の酒は少な過ぎると言われています。要するに、一杯の酒に手を出したら徹底的に飲み出してしまうという事です。私はその一杯の酒に手を出したばかりに、とことん飲んでしまったのです。朝から飲みだし、夕方まで一睡もせずに飲んでいました。その途中に何回も菊陽病院に電話をしているのでした。（赤木Dr）

赤木Drは、「もう、飲むのを止めなさい。先生が明日くわみず病院に行くから、その時にゆっくり話を聞くから、そのまま寝なさい」と言われましたが、博多駅から東京着の新幹線に乗ったように飲み出していました。夕方になり、飲むのが苦しくなりAAの仲間家に電話を掛けて助けを求めました。AAの仲間は10分もたたないうちに家に来てくれて、焼酎のパックを取り上げてくれました。そして、「明日くわみず病院に行ってお赤木先生に診察してもらった方がいいよネ。」と言いながら帰りました。その後のことは記憶に残っていません。ブラックアウト（酩酊時の記憶喪失）になっていて記憶が途絶えていました。

翌日2月3日(土)に目が覚めた時には、体全体がガタガタに振るえていて寒気がしていてもものすごく苦しかったのです。両足先は冷たく冷えきって感覚はなく、「シビレ」感というか「痛み」があって歩けませんでした。

ふくし生協の小澄さんが迎えに来られた時にはそんな状態だったので「変だなあ」と言われましたがとにかく、くわみず病院に行こうということで車椅子に乗り込んで外に出たところ、いつもだったら眩しく感じなかったのにその時は外に出たとたん、サングラスでも掛けないと目が開けられないくらいに眩しくて目が開けられませんでした。それでもどうにかこうにかリフトバスに乗り込み、くわみず病院に送ってもらいました。

病院に着き診察を待っている時間も体が震えていていました。診察室に入ると主治医の先生はもう知っておられました。それもそのはずです。前日に電話で話していたからです。早速、先生が「アルコールを飲んでいたそうだね、どれくらい飲んだのかな」と聞かれ、私は一言震えた声で「2升は飲みました。」と震えた声で答えました。赤木先生は菊陽病院入院を勧められましたが、私は入院を拒否しました。

入院を拒否したため、鶴田病院にでもいいから入院しなさいといわれましたが、それでも拒否したため菊陽病院に電話をされて入院するばかりになっていましたが、迎えの車が4時にしか来られないと言う事だったのでそれまで点滴を打って体内のアルコールを解毒していく事になっていました。点滴を打ち始めた時に、急に吐き気が出てきたので看護師さんと呼んだところ洗面器半分ぐらいの血を吐血しました。1回目の吐血の時には赤木先生もそれほど慌てていなかったようですが、2回目の吐血の時には量が多かったため赤木先生が慌てて緊急入院と看護婦さんに指示されていました。内科の先生は吐血した血液を検査室に持って行き、検査データを赤木先生に報告されていたようでした。

2回目の吐血の時には半分は意識がなかった状態で、何がどうなっているのかわからなかった状態でした。意識がボウーとしている中、私は裸にされ股間に麻酔を打たれ点滴の細い管を静脈に入れ込まれました。足の方を見てみると点滴が4本下がっていました。その後、赤木先生が看護婦さんに「ICUに至急運んで下さい」と看護婦さんに言われているのが、微かに聞こえていました。後は意識を失い覚えていません。

数時間後意識を取り戻し目を開けてみたら、看護婦さんの顔が目の前にいました。私は看護婦さんに聞いてみました。

「ここは何処かな」……と。

看護婦さんは「覚えてないの。ここは、くわみず病院のICUの中なのよ。今の久島君の状態は非常に危険な状態だからあまり話さない方がいいわ。」と言われました。しばらくして母と妹の連絡先を聞かれたので、おかしいなあと思い看護婦さんに聞いてみたところ、家族の人に来てもらうためよ、と言われました。

その後主治医の赤木先生と内科の先生が私のところに来られて病名を告げられました。

『急性膵炎と体内の血液が極度の酸性に変わっているから動いてはいけないよ。命が危ないんだからね。元歌手の尾崎豊を知っているだろう。あの人も君のような状態で死んでいったんだよ。今の君の状態は尾崎豊よりも酷いんだからね。分かったね。先生も時々君のところに来るから安心して休みなさい』と言われて24時間体制でまる一週間点滴の打ちばなしが始まりました。その間意識を何回も失っていました。

一週間過ぎたらICUから普通部屋に移されましたが、何も食べていなかったため体力が消耗して元気が出てきませんでした。急性膵炎と言うことで血糖値が高かったためインシュリンを2～3日打ちましたが、正常に戻ったためインシュリンも中止になりました。点滴も一週間過ぎたら中止となりました。食事も食べられるように回復しましたが両足先の血管障害というか末梢神経障害が完治していなく、いまだに歩くことが以前よりも困難になりました。入院した当時は立つ事はもちろん、スプーンを握む事も困難でした。でも、リハビリを毎日やっ

ていたら自然と良くなってきました。

しかし、アルコール性末梢神経障害だから完全には治らないだろうと言われました。確かにまだ完全ではありません。歩く時に電流が走るような痛みを感じます。しかし、誰が悪いわけでもありません。自分でこんな体にしてしまったのです。3月9日に退院はしてきましたが、今回の入院は私の生存率は2分の1の確率だったという事でした。主治医の赤木先生も内科の先生も看護婦さんもそう言われていました。『死にかけた』人間が何もなかったかのように蘇ってきたのです。入院中にある看護婦さんからこんな事を言われました。

「あなたみたいな症状で入院してきた人が今までに何人もいたけど、ほとんど助からなかったわ。だからね、あなたも諦めかけていたのよ。でも、あなたは蘇ってきたわ。素晴らしい生命力の持ち主だわ。命を大事にしないといけないね」と言われました。振り返ってみると、今回の入院が一番恐ろしかったです。命が欲しかったら一日も長く飲まない生活をしたいものです。

ちなみに本日までの飲んでいない日数、7日目

1996年3月15日 久島雅樹

## 思いつくままに

倉田さんとの交流(1)

一甲宜男

### 尾ノ上小学校で

1988年10月のある日の尾ノ上小学校。体育館のステージの上から話をしている人がいます。

「ぼくは、手が不自由です。だから、手や足などが不自由な人たちだけが行く学校で勉強しました。でも、本当は、普通の学校で勉強したかったです。」

話している人は、くまもと障害者労働センター代表の倉田さんです。倉田さんは、ゆっくりゆっくり発音するのですが、いつも以上の緊張で、発音がいつもより不明瞭です。その上、体が動きます。顔が上がるのです。

聞いている人は尾ノ上小学校の2年生、約200名の子供たちです。

どんな人が話すのかな?と初めは、シーンとしていた子供たちも、隣の子と顔を見合わせてはニヤッとしたり、笑いをこらえている様子を見せたりし始めました。でも、倉田さんは一生懸命話を進めます。「その学校を卒業しても働くところはありません。でも、ぼくたちは働きたいです。だから、粉石けんを売ったり、牛乳パックを集めたりして働いています。」

だんだん、発音も明瞭になってきました。笑っていた子が手を口に当てて笑いをこらえて、倉田さんの口元をじっ



と見つめ始めます。倉田さんも次第に落ち着き、体も前のようには動かなくなりました。

「では、今から牛パックの一生についての話をします。牛乳パックは木から紙を作ってパックにします。パックは、みんなのうちにいきます。牛乳を飲んでしまったら、ゴミすてに捨てられます。牛乳パックは、『かなしい、かなしい』と、泣いています。でも、みんなが尾ノ上小学校に持ってきた牛乳パックは、紙工場に行ってトイレットペーパーに変身して喜んでいきます。5つのパックから1巻のトイレットペーパーができます。それに、牛乳パック集めは、自然を大切にすることにもなります。無駄づかいをしないことになります。どうか、僕たちと助け合って牛乳パックを集めましょう。」

笑っていた子供たちも、いや、すべての子供たちがシーンと聞き耳を立てて聞いていました。話し方は、ゆっくりゆっくりですから、それだけの話でも10分以上はかかっていたようです。話が終わると、子供たちからの自由質問です。「めしくうときは、どうしてたべていますか？」

「足で食べます。」

「足の口まで、上がったとね。」

倉田さんは、足を頭まで上げて自分の髪の毛をなでました。子供たちは、そのまねをはじめます。自分の足を頭まで上げようとするのですが、うしろへひっくり返ってしまいます。又、倉田さんは牛乳パックをハサミで切りました。足で…。フェルトペンを取り、紙に字を書きます。「くらた・てつや」と…。足です。

「ワー、スゲー」もう、驚きの声が上がりました。教室に入って子供たちは、作文にしたり、くらたさんへ手紙文を書いたりしていました。その一部を紹介します。

●倉田さんが足で字を書いたこと。

陽川まり

きょう、くらたさんたちが学校に来ました。くらたさんが、教室に入ってきました。そして、足で字を書きました。みんなが、

「すげえー」と言いました。

倉田さんが書き終って読んでみました。

「2年5組のみんなへ。くらたてつや」と書いてありました。わたしは、すごいなあと思いました。

●足でいろんなことをしたこと。 河野だいすけ

月曜日、手のふじゆうな人が来ました。はじめ、どんな人かわからないので、むねのところかワクワクしました。手のふじゆうな人が話をしました。へんな顔になったりしてかわいそうでした。ゲームをしました。だんだん慣れてきました。ゲームが終わってから、足でハサミを持って紙を切りました。さいしょは、本当にできるのかなあと思いました。そしたら本当にできたからびっくりしました。ぼくたちが、はくしゅをしたらその人も足ではくしゅをしました。ぼくも

やってみたら、できました。2番目に足で字を書きました。びっくりしました。3番目に足で顔や頭をかいたので、ぼくもまねしてやってみました。

●くらたさんへ 八坂かずひこ

くらたさんは足の使い方が名人ですね。ぼくもまねしたけどできませんでした。でも、一つだけできました。それは足で頭をかくことです。それで頭がかゆい時、足でかいてみました。だんだんできるようになりました。でも、髪がぐちゃぐちゃになるのです。くらたさんは、すごいですね。足でカレーとかを作るのが名人だそうですね。また、学校へ遊びに来て下さい。

●くらたさんへ

わたしは、くらたさんが足ではさみを使って牛乳パックを切ったり、足で字を書いたりするのを見てびっくりしました。はじめは、口がふじゆうだったことを知った時、とてもかわいうだと思いました。でも、手がふじゆうなのに足でなんでもした時は、すごいなあと思いました。どうか元気で頑張ってください。

倉田さんが学校を出る時は、子供達は玄関まで見送るのです。握手をしたり、バイバイをしたり、次の日から牛乳パックは、どんどん集まります。

そして12月の24日までの約2ヶ月間、1クラス分だけで1164枚(38kg)集まったのです。次号へ続く。

## どんぐりゴマのメッセージ

折ったつまようじをどんぐりに差し込む。皮が少し堅くてうまくささらない。

「そがんじゃて、きりであけなん。」横で見ていたえみちゃんが、そう言って台所に取りに行く。小箱いっぱい

のクヌギの実。「わあ、えらくいっぱい入っとるねえ。」とぼくが言う

と、

「きのう、お母さんとこうじ(弟)と上の方(山)に取りに行った。まだいっぱいあつとばい。」と話す。「これ、よう回つとばい。」と、どんぐりゴマを回して見せる。お母さんが子供のころ使っていたという小さな机の上をくるくると勢いよく回る。つぎつぎと作っていたどんぐりゴマを幾つも回して見せる。

トランプを持ってきた。

「きりふをきのうお母さんと23回したばってん、1回しか勝たんだった。」『きりふ』は、この前来たときにひさしくんたちとにぎやかにしたゲームだ。そのときえみちゃんはやり方を知らず、見ていた。いっしょに仲良しのみきさんがえみちゃんとぼくにカードを配る。



みきさんと話しているとえみちゃんが箱の中のどんぐりを数え始めた。  
「1、2、3、・・・25、26、27。はい、あげる」えみちゃんの小さな両手に  
いっぱい乗ったクヌギの実が、差し出したぼくの両手に転がる。

『27こ 3年1組の児童数26人と担任1人』

「えみちゃん、このままじゃなくすけん、何か入れ物ちょうだい」と言いながら、  
一瞬、感情になりきれなかったものが胸をかすめた。

1年 27日

2年 74日

3年 4月-2日、5月-3日、6月-5日、7月-6日、  
9月-13日、10月-18日、11月-22日(全月)

えみちゃんが3年生になってぼくは出会った。



1学期、エネルギーッシュな子どもたちが所狭しと動き回る中  
で、えみちゃんは、おとなしい方だった。ひとりぼっちではなかったが、いろん  
な友達と遊ぶ姿を見ることはなかった。休みが続いて学習が遅れることがあっても  
短時間の指導で理解した。まじめでこちらが忘れていても学習作業はていねいに  
やって来た。えみちゃんが、全月休んだ11月。人権週間に向けて『もやもや  
書き』の授業をした。えみちゃんにもプリントを持っていった。授業の説明をし  
た後、渡して帰った。次に行ったとき、えみちゃんは何も書いてはいなかった。  
ぼくは彼女を横において『もやもや書き』のプリントに手紙を書いた。

●先生は、えみさんがゆっくり学校をお休みすることをいけないことだとはぜん  
ぜん思っていない。えみさんが、「よしいこう」と、ほんとうの元気が出たとき、  
学校に来るだろうと思うから、そのときはみんなでよろこんで勉強したい  
とかんがえているよ。

●それでも、お休みしている間に勉強がおくれることをしんばいしたり、友達と  
あそびたいなあとおもうけど、あそぶあいてがないからつまらないとか、こ  
まったり、しんばいするようなことがあるとゆっくり休めないだろうなと思う  
から、先生にたのみみたいことがあったら、書いておしえてくれ。

●先生は、えみちゃんの先生だから、できることおうえんするぞ。

それで

その1、じゅぎょうで使ったプリントとかテストとかは、持ってきた方がいい？

その2、クラスの友だちがえみちゃんちに遊びに来たがっているんだけどその  
友だちは、こうたいでつれて来ていいか？

その3、えみちゃんから、その他なんでもいいけど、先生にたのみみたいことが  
あれば書いていいよ。できることはやるぞ。

書いた後、えみちゃんに読んで聞かせた。「ゆっくり学校をお休みすることは、  
いけないことだとはぜんぜんぜん…」いつもとは違って大きくうなづきながら聞  
く彼女の姿は今もよく思い出せる。

次号へ続く。



## おてもやんだよい

松田美知子

その〇〇さんは世間の就職情報に詳しい先輩でありました。声をかけられたときも、園のどの科がいいか話をされましたが、とどのつまりは自分のいる印刷科が県でも指折りの機械が備えつけられてあり、指導員の免許が得られるから頑張り甲斐があると張り切っておられました。この時は別に気にも留めませんでした。が、テレビのニュースでコロニー印刷所に勤めている〇〇さんが夫人同伴で確か市のイベントのパネルを作るのを手伝っていましたので、納得がきました。

実際もってこの先輩といい、部屋の先輩といい少しお節介だと言わんばかりに社会で生きる為の知恵を教えて頂きました。しかし、障害者は何と言っても職業が限られている上に雇用する側の理解が最も必要されるのでなかなか難しい処もあります。そして今でこそ障害者として主義主張を堂々と言えますが、〇〇さんが言う様に学校に行くのもおぼつかなかった時代の職業となるとなさらでした。勿論、養護学校とか訓練校を出た人なら、たやすく就職情報が耳に入って来るかもしれませんが、いったん家事見習いとして引っ込んだ私には斡旋をしてくる人もいず、焦るばかりでした。このような苦い経験があるので、先ほどのような先輩は何かにつけて頼もしい存在でした。

その〇〇さんは名の知られた資産家の息子でして、車を障害に合わせて改造して乗っていました。その頃は車はとても高価でしたが、障害者にとっては必需品でした。国際障害者年の2、3年前でしたか、改造費が廃止になるということで署名運動や県庁まで話し合いに行ったこともあります。その甲斐あって撤回にこ

### ライター(執筆者)募集

「With」では連載執筆者を募集しています。

わずかですが、原稿料をお支払いします。

特に在宅の障害者の方！

「With」に原稿を書くことで働いてみませんか。！

詳しくは労働センターの倉田か久島まで

# 熊本シネマランド

⑫

編集協力・キネコム  
（熊本に映画博物館を創ろう会）

## 地獄堂霊界通信



小中学生に大人気「地獄堂霊界通信」シリーズが映画化されたよーっ！。ケンカにはめっぽう強い最強小学生・てつし、頭脳明晰ハンサムボーイ・椎名、心やさしい・リョーチン、毎度おなじみ個性豊かなワルガキ三人組が「超こわい！」「生首」や“死神”を相手に立ち向かうゴーストバスタームービー。

## モータル・コンバット

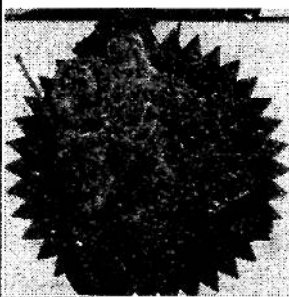
「映画」が誕生して100周年を迎えた今、“観る”だけではなく、“体感”する映画が現れた。「T2」や「トゥルーライズ」「マスク」のスタッフが組んで最強のプロジェクトを実現。驚異のSFXと凄まじいデジタル・サウンド、バーチャル・トリップでアナ



ザーワールドへワープ!!ともかく“観”なくちゃワカラナイ。

## トイストーリー

世界初の3D・CG・アニメーション。おもちゃの人形達にだって、こんなに豊かな夢と冒険の世界があったんだ！。ハラハラ、ドキドキ、スピード感



あふれる感動のストーリー。主人公のカーボーイ人形バズの声はアカデミー賞俳優のあのトム・ハンクスが熱演してるんだヨ。

## 「JUMANJI」ジュマンジ



“ゲーム”をしてて、つい面白くなってやめられなくなった経験ありませんか。いくら熱中しててもゲームはゲーム。終わってしまえば現実とは何の関係もないもの。だから安心して夢中になれる。でも、この「JUMANJI」“ゲーム”に引きずり込まれたら最後！途中で止めることはall out!!“死”

「ゲーム」をしてて、つい面白くなってやめられなくなった経験ありませんか。いくら熱中しててもゲームはゲーム。終わってしまえば現実とは何の関係もないもの。だから安心して夢中になれる。でも、この「JUMANJI」“ゲーム”に引きずり込まれたら最後！途中で止めることはall out!!“死”

## デンジャラス・マインド(卒業の日まで)



アメリカ社会の大きな問題。人種差別・麻薬・貧困etc。特に黒人やヒスパニックの子供達にとって社会の偏見と悪への誘惑は常に手の届く所に存在する。そんな彼らに「未来を選び取る自由」を熱っぽ

く語る教師がいた。生きていくうえで常に求められる「Choice」。選択の自由は自分自身の人生を創っていくこと。ティーン達に贈る感動の作品。

## カジノ

世界最大の娯楽都市ラスベガス。その中にある“カジノ”は人間の欲望をむき出しにさせる独特な存在といえる。一夜にして億万長者！虚飾と夢！不夜城の中に蠢く人間のドラマを名優ロバート・デ・ニー

ロと演技派女優としての魅力を増したシャロン・ストーンが白熱の共演で魅せる。





## ベイブ

私たちの身近には、さまざまな動物達が生きています。あるものは食用になり、使役に役立ち、またペットとして一緒に暮らす動物もいます。ニワトリは卵をうみ、牛はミルクを。猫はかわいいペットになり、犬は羊達の番をする。そして、ブタは・・・いつかは人間に食べられる！。しかし、無垢な子ブタ・ベイブは人間によって押しつけられた運命を敢然と拒否します。自分が生きたいように！自分自身がなりたいブタに！そう、ベイブの夢は立派な牧羊豚！。どこから見たってまぎれもないブタだけれど、志は高く！きつとなるんだ牧羊豚に！

周囲の世界に差別や偏見があったって、純真な心を失わずけなげに生きるベイブの姿が爽やかな感動を呼ぶ全米大ヒット作。

## Let's go to the Movies! 3月下旬～

毎月1日は映画ファン感謝デー・劇場により、毎週金曜日のサービスデーあり

熊本東映	☎356-7393	ドラゴンボール/ご近所物語～4/12	地獄堂霊界通信(妖怪vsワルガキ3人組)4/13～
東宝1	☎352-1718	ドラえもん/ドラミ&ドラえもんズ～4/12	クレヨンしんちゃん4/13～
東宝2	☎352-1718	デンジャラス・マインド(ミシェル・ファイファー)～4/12	マネートレイン4/13～
東宝プラザ	☎325-0952	ブローグン・アロー(トラボルタvsスレーターのノンストップ・アクション)	
オリオン座	☎352-0953	セブン～4/19(予)	カジノ 4/20(予)
セントラル劇場	☎353-4050	ジュマンジ(ロビン・ウィリアムズ)	
セントラル1	☎356-3100	トイ・ストーリー(日本語版・アカデミー特別賞受賞)/グーフィーとマックス	
シネラックス1	☎352-3592	コビー・キャット(シガニー・ウィーバー、ホリー・ハンター)	
シネラックス2	☎356-7904	Shall we ダンス?～3/29	モータル・コンバット/Dr.ジキル&Ms.ハイド3/30～
DENKIKAN	☎352-2121	ベイブ(朝2回は日本語版・3回目以降スーパー版)	
		☆レイトショー-Undo(4/1～5)太陽に灼かれて(4/8～12)欲望の翼(4/15～19)	
熊本松竹1	☎354-3611	トイ・ストーリー(スーパー版・ディズニー)/花嫁のパパ2	
熊本松竹2	☎354-3612	ウルトラマンゼアス(生誕30周年)～4/12	美味しんぼ4/13～

### 一期一会

たった一日だけの上映会

エド・ウッド ・1994年 監督/ティム・バートン

・主演/ジョニー・デップ

・オーソン・ウェルズに憧れ、低予算のSF・怪奇映画を作り続けた史上最低の監督とうたわれた伝説の映画監督＝エド・ウッド

・4/28(日)産文 PM6:30 ……(主催)Denkikan

#### 映画肥後狂句

京小町

・セブン

・スクリーンから血の臭う

・暴走特急

・強うおますなセガールは

・アメリカン・プレジデント

・ホワイトハウスたまたがらせ

・スカレットレター

・死よりも強う生きた愛

・周防監督次回作

・Shallow We ケッコンですか？

#### 私の好きな本

「お母さん 子どもの

作文読んでますか」

元中学校教師の映画評論家・藤川治水氏による、映画にまつわるエピソードたっぷりの体験的教育論。感動こそ教育の原点という持論を子どもの作文を通して力まず語る。子どもへの温かい視線に感動しながら、目からウロコが落ちる思いで一気読みました。

(受験期の子を持つ迷える母)

## 2月の日報

- 5日 熊福連会議吉村  
 6日 同友会女性部会福永、松井  
 8日 エイト紙工見学見える  
 パック連事務局会議松井  
 9日 グリンコープ打合せ午後福永  
 16日 運営会議(労働センター内)19:00~  
 23日 火の国ハイツ販売吉村、東

## 訂正

労働センターの通信『With』をご愛読頂き有り難う御座います。皆さんの協力のお陰で『With』の会の会員も60名程に増えてきました。が、こちらの間違いで会員番号を間違っていました。今月号より正確な会員番号で皆さんにお送りしますので、宜しく願います。

また、1月号のバック回収の欄のくまもと生協の3566、1Kgは356、1kgでした。深くお詫びします。

## 編集後記

3月に入り、春もそこまで来ているようですが皆さんお元気ですか。朝・夕はまだまだ寒いですが、労働センターの仲間も寒さに負けずいろいろなイベント・行事等に参加して頑張っています。また、事業を拡大する方向で新しい展開をしています。今後とも皆様の心暖かいご支援をお願いします。

なお、原稿を募集していますので、皆様のご意見・ご感想等をお寄せ下さい。

## 2月のバック回収

1日 合志小学校	53.4Kg
泗水小学校	38.0Kg
2日 スーパーマルカ	138.2Kg
5日 菊陽中学校	1.2Kg
希望荘	1.1Kg
スーパレットタニダ	208.2Kg
6日 甲佐高校	12.5Kg
8日 甲佐小学校	62.5Kg
13日 大江市民センター	20.3Kg
個人	1.8Kg
スナック島津	4.7Kg
14日 平島さん	0.1Kg
託麻西小学校	40.7Kg
託麻南小学校	17.1Kg
ふくし生協	3.8Kg
15日 秋津小学校	51.7Kg
16日 個人	3.5Kg
19日 月出小学校	36.6Kg
山ノ内小学校	18.7kg
第二ぎんなん作業所	12.1Kg
20日 村田さん	0.8Kg
有機の会	18.9Kg
キッチン岡田	12.5Kg
西原中学校	21.0Kg
21日 帯山小学校	94.0Kg
池田小学校	33.0Kg
池田さん	1.0Kg
清水小学校	29.9Kg
岡田コーヒー	29.0Kg
26日	
国際ソロプチミスト熊本	15.7Kg
西合志東小学校	29.5Kg
長嶺小学校	156.8Kg
平島さん	0.1Kg
岡田博道さん	20.2Kg
スーパー大信商店	54.6Kg
画図小学校	34.4Kg
29日 大江市民センター	16.0Kg
吉野中学校	3.8Kg
健軍小学校	26.5Kg
帯山中学校	117.1Kg